



THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN

大学院修士全科生

2022年度入学希望者ガイダンス

放送大学大学院修士課程の概要①

研究科・専攻・プログラム

放送大学大学院修士課程は、1 研究科（文化科学研究科）、1 専攻（文化科学専攻）の下に、7つのプログラムを設けています。

研究科	専攻	プログラム名	教育目標
文化科学研究科	文化科学専攻	生活健康科学プログラム	生活、健康、福祉の領域における専門的かつ総合的な知識を持ち、生活環境をよりよい方向に導くための方法を習得し、人々の生活の質の向上に資するための施策に積極的に関わる能力を有する指導的人材の養成
		人間発達科学プログラム	人間の心理的及び社会的な発達のメカニズムを理解し、現代の学校や家族あるいは地域社会が直面する教育課題を科学的・実証的に把握した上で、そうした課題に積極的に取り組み、多様な学習ニーズに対応していくことができる指導的人材の養成
		臨床心理学プログラム	さまざまな分野で深刻さを増す心理的な問題に対応できる臨床心理士（高度専門職業人）の養成および再研修(※)
		社会経営科学プログラム	社会の構造と変容について多様な見地から解明し、さまざまな社会領域のガバナンスに必要とされる高度な知識と技術を備えた人材の養成
		人文学プログラム	人文学研究の諸分野において、蓄積されてきた知的資産を基礎にして、多様で洗練された方法論を身につけて資料の調査・解読・分析を行い、総合的な知見と創造性をもって「知」の発展に貢献できる人材の養成
		情報学プログラム	情報およびコンピュータに関する基礎概念や応用知識をもとに、社会におけるさまざまな現象の本質を見極める能力を持ち、問題解決にむけて、その知識を実践的に活用していくことのできる人材の養成
		自然環境科学プログラム	科学技術が自然環境や人間社会に大きな影響を与える現代にあって、科学的認識に基づいて問題を把握し、その解決を指向する実践能力と、客観的な評価能力を身につけた人材の養成

※臨床心理学プログラム・・・公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による第2種指定大学院

放送大学大学院修士課程の概要②

入学者選考合格

履修科目登録

入学料・授業料・研究指導料納付

入学許可

放送授業

オンライン授業

研究指導

実習・演習
臨床心理学プログラムのみ

印刷教材等送付

放送授業・印刷教材による学習

オンライン授業による学習

学期毎に研究レポート提出
※臨床心理学プログラムを除く

査定演習・基礎実習

通信指導

修士論文

単位認定試験

審査・口頭試問

実習
※外部施設

成績評価

単位認定

修了要件充足

修了（修士の学位授与）

臨床心理学プログラム以外：30単位
臨床心理学プログラム：34単位



放送大学大学院修士課程の概要③

研究指導のスケジュール(生活健康科学、人間発達科学、社会経営科学、人文学、情報学、自然環境科学プログラム)

第1年次	第1学期	4月1日 4月上旬 5月頃 8月中旬 9月下旬	入学 入学時オリエンテーション 教員より学生へ「研究レポートⅠ」の課題・仕様の提示 「研究レポートⅠ」の提出 「研究レポートⅠ」の指導
	第2学期	10月頃 10月頃 2月中旬 3月下旬	研究指導担当教員の判断により「報告会等」(対面又はメディアを利用)の実施 教員より学生へ「研究レポートⅡ」の課題・仕様の提示 「研究レポートⅡ」の提出 「研究レポートⅡ」の指導
第2年次	第1学期	4月頃 8月中旬 9月頃	「報告会等」(対面又はメディアを利用)の実施 「修士論文中間報告(研究レポートⅢ)」の提出 「修士論文中間報告(研究レポートⅢ)」の指導
	第2学期	10月頃 12月中旬 1月頃 2月中旬 3月下旬	「報告会等」(対面又はメディアを利用)の実施 「修士論文」の提出 「試験(口頭試問)」の実施 単位認定 修了(学位記授与式)

月1回程度、研究指導を実施します。指導は、対面又はメディアを利用して実施します。

研究指導のスケジュール(臨床心理学プログラム)

第1年次	第1学期	4月1日	入学
		5月中旬	オリエンテーション
			臨床心理基礎実習(1)、臨床心理査定演習(1)
		8月上旬	第1回合同研究指導、臨床心理基礎実習(2) 臨床心理査定演習(2)
	第2学期	2月上旬	第2回合同研究指導、臨床心理基礎実習(3)
第2年次	第1学期		臨床心理実習(1~2学期 90時間)
		8月下旬	第3回合同研究指導および「修士論文中間報告会」 臨床心理実習・本部面接授業
	第2学期	12月中旬	「修士論文」の提出
		1月上旬	口頭試問(発表会形式)
		2月中旬	単位認定
		3月下旬	修了(学位記授与式)

研究指導担当教員の判断により、月1回程度、原則として個別あるいはゼミ形式による対面指導を実施します。状況に応じて、メディアによる補完的指導もあります。

学 費

学 生 種	検 定 料	入 学 料	授 業 料	研究指導料
修士全科生	30,000 円	48,000 円	1 単位当たり 11,000 円	1 年間につき 88,000 円
修士選科生	—	18,000 円		—
修士科目生	—	14,000 円		—

<修了までにかかる費用>

(臨床心理学プログラム以外)

入 学 料	48, 000 円	}	合計 466, 000 円
授 業 料	242, 000 円 (22単位)		
研 究 指 導 料	176, 000 円 (88,000円/年)		

(臨床心理学プログラム)

入 学 料	48, 000 円	}	合計 530, 000 円
授 業 料	286, 000 円 (26単位)		
研 究 指 導 料	176, 000 円 (88,000円/年)		
臨床心理 実習費	20, 000 円		

(参考: 国立大学の大学院)

入学料 : 282, 000 円
 授業料 : 1, 071, 600 円 (535, 800 円/年)

合計 1, 353, 600 円

出願・入学者選考について①

出願・入学者選考スケジュール（募集要項4ページ）

【出願受付期間】

[インターネット]

- 2021年 8月14日（土） ～ 8月25日（水） **17時**

[郵送]

- 2021年 8月14日（土） ～ 8月25日（水） **消印有効**



受験票：2021年9月13日（月）発送

【第1次選考：筆記試験】

- 実施日：2021年10月2日（土）
- 場 所：各学習センター
（東京渋谷・東京足立・東京多摩学習センターを除く）



第1次選考の合否通知：2021年10月29日（金）発送

【第2次選考：面接試問（第1次選考の合格者）】

- 実施日：2021年11月13日（土）または11月14日（日）の
いずれか1日（プログラムによる）
- 場 所：放送大学本部または千葉学習センター



第2次選考の合否通知：2021年12月17日（金）発送

入学者選考スケジュール（募集要項4ページ）

- ◇2次選考は、1次選考の合格者に対し、本学で指定した日時を通知します。日程はプログラムにより異なります。
- ◇臨床心理学プログラムは、2日間の実施のうちいずれか1日となります。
- ◇個人の事情による日時の変更等には応じておりませんので、あらかじめご了承ください。

2次選考実施日程

プログラム	11月13日(土)	11月14日(日)
生活健康科学	○	
人間発達科学	○	
臨床心理学	○	○
社会経営科学	○	○
人文学		○
情報学		○
自然環境科学	○	

障がいのある方の特別措置(募集要項7ページ)

- ◇ 障がいのある方が出願される場合は、障がいの種類等に応じて入学者選考における「受験上」および入学後における「修学上」の特別措置を行うこととしています。
- ◇ 特別措置を希望される方には、「特別措置希望調書」を提出していただきますので、下記の相談期間に、本部教務課大学院企画・入試係へご連絡ください。

- ① 相談期間:2021年6月10日(木)～7月15日(木)
- ② 相談結果:2021年8月6日(金)に通知文書を発送予定

<担当>

放送大学教務課大学院企画・入試係

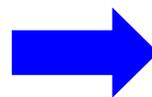
メール:in-nyushi@ouj.ac.jp

研究指導、実験・演習・実習(募集要項10ページ)

- ◇ 出願の際、教員の指導可能なテーマ・研究等業績と研究計画書の内容があっているかを念頭に置いて、所属を希望するプログラムに在籍する本学専任教員の中から、希望する研究指導担当教員(1名)を記入してください。研究指導担当教員は、出願時の研究計画書および入学者選考の結果等を総合的に勘案して、**本学が最適と判断した教員に決定**します。
- ◇ 研究指導は、個別やゼミナール形式による直接対面指導や、直接対面指導が難しい場合はWeb会議システムやインターネットを活用した指導を行いますが、**どのような方法で指導を行うかは、入学後、研究指導担当教員が学生と相談した上で決定**します。

プログラムの選択(募集要項10ページ)

プログラムの選択についてご質問・ご相談がある場合



メールで相談可能

E-Mail: in-nyushi@ouj.ac.jp

相談期限: 7月末日まで

(回答まで2週間程度を想定し、早めにご相談ください)

※出願後のプログラム変更はできません

(参考) 教員の指導方針と方法等

1. 「研究計画書の作成」をクリック

大学院文化科学研究科文化科学専攻

修士課程 博士後期課程

7 プログラム

- 生活健康科学
- 人間発達科学
- 臨床心理学
- 社会経営科学
- 人文学
- 経営学
- 自然環境科学

修士全科生
修士選科生
修士科目生

学生の種類

目的にあわせて、在学期間や履修科目を選ぶよう、「修士全科生」「修士選科生」「修士科目生」の学生種別を設けています。

研究計画書の作成

専任教員ごとに、指導方法や入学を希望すること等をご覧いただけます。修士全科生へ出願する方は事前にご確認いただき、研究計画を検討する際の参考にしてください。

2. 「教員の指導方針と方法」をクリック

大学院 (文化科学研究科) 修士課程 修士論文の作成

修士論文の作成

修士論文の作成

1. 研究指導教員の決定について

本学大学院修士課程を修了するには、所定の単位数の授業科目を履修することに加え、修士論文を作成し審査に合格することが必須の要件です。修士論文の作成（原則2年間）は、教員による研究指導を受けながら行われます。

研究指導を直接担当する教員は、放送大学の専任教員または客員教員です。研究指導教員の決定には、学生の希望する研究テーマと専任教員の指導可能領域、学生が出願票に記入できる希望教員（専任教員のみ）、入学希望者の結果等が総合的に勘案されます。大学が最適と判断した教員を決定し、入学後に通知します。したがって、出願時に希望教員を記入しても、必ずしも希望どおりになるとは限りませんので、あらかじめご了承ください。

2. 参考ページ

下のリンクから、専任教員の紹介ページと研究業績等の紹介ページ（外部サイト）を見ることが出来ます。希望教員を記入する場合の参考にしてください。紹介ページ等はありません。）

[教員の指導方針と方法等](#)
研究方針や指導方法等の詳細（リサーチマッ...

3. 教員の指導方針

大学院 (文化科学研究科) 修士課程

教員の指導方針と方法

生活健康科学プログラム ▾ 人間発達科学
社会経営科学プログラム ▾ 人文学
自然環境科学プログラム ▾

生活健康科学プログラム

山内豊明 専門：看護アセスメント学

1. 指導方針

修士課程は、研究者としての入門段階と考えています。一人前の研究者となるためには、修士課程に続く

「教員の指導方針と方法等」ページにて、各教員の

- 指導方針
- 専門領域
- 指導可能領域
- 指導方法
- 入学者に求めることを掲載しております。

(参考) 研究者業績

2. 「プログラム名」をクリック

1. 「教員紹介」をクリック

大学院文化科学研究科文化科学専攻

修士課程 博士後期課程

学長からのメッセージ
放送大学の学長から学生の皆様へのメッセージをお伝えいたします。

7つのプログラム
放送大学大学院修士課程は、1研究科（文化科学研究科）、1専攻（文化科学専攻）の下に、7つのプログラムを開設しています。

学生の種類
目的にあわせて、在学期間や履修科目を選ぶよう、「修士全科生」「修士選科生」「修士科目生」の学生種別を設けています。

授業科目
放送大学大学院修士課程の放送授業科目案内です。テーマやキーワードなどで検索し、概要やシラバスを閲覧できます。

教員紹介
放送大学大学院修士課程には、各分野でトップクラスの講師陣がそろっています。それぞれのプロフィールや研究分野、業績についてご紹介します。

研究計画の作成
専任教員ごとに、指導方法や入学への期待すること等をご覧いただけます。修士全科生へ出願する方は事前に確認いただき、研究計画を検討する際の参考にしてください。

大学院（文化科学研究科） 修士課程 教員紹介

教員紹介

学長・副学長

修士課程専任教員

- 生活健康科学プログラム
- 人間発達科学プログラム
- 臨床心理学プログラム
- 社会経営科学プログラム
- 人文学プログラム
- 情報学プログラム
- 自然環境科学プログラム

オンライン教育センター

学習センター所長

障がいに関する学生支援相談室 教員

研究者業績が確認できます。

3. 「教員名」をクリック

人間発達科学プログラム

岩崎 久美子 生涯学習論/教授

学習においては、自分で研究を計画、実施、内省するプロセスが重要です。関心を振り下げ、多様な手法から適切な研究ツールを選び、論点を展開する方法を身に付けられるよう、必要な指導や支援をいたします。

- 家庭、地域社会、企業等でインフォーマルに営まれる青少年や女性の学習活動に関する理論や実践

岩永 雅也 教育社会学/生涯学習/学長/教授

社会的な視点と方法により、教育の現代的課題の理解とその背景や要因の解明を目指しています。社会システムとしての教育という観点から、主に量的分析に依拠しつつ研究を行っています。

- 教育社会学、生涯学習、高等教育、逸脱、遠隔教育、才能教育など。

4. 研究者業績

研究者業績

研究者リスト >> 岩永雅也

岩永雅也

研究者ID: []

eメール: []

URL: []

所属: []

部署: []

職名: []

学位: []

（学術）（筑波大学）、教育学修士（東京大学）

研究キーワード

生涯学習, 社会調査, 遠隔教育, 才能教育, 大学評価, 公開大学, 社会移動

研究分野

教育学 / 教育社会学 /

※掲載項目は教員によって違いがあります。

出願資格(募集要項12ページ)

- ◇ 大学を卒業した方(卒業見込みの方、法令等によって大学卒業と同等と扱われる方を含む)、または、本学大学院が行う出願資格事前審査において、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方です。

出願資格事前審査(募集要項13ページ)

- ◇ 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院が認定した場合に出願資格を認める制度です。
- ◇ 最終学校卒業後に携わった研究・実務の内容等に基づいて審査を行うため、**企業・社会活動・学会等における実務経験が、大学卒業に相当する資質・能力を養成したことを具体的に示していただくことが必要です。**

【審査を希望される場合】

2021年6月10日(木)～7月15日(木)までに、募集要項14ページに記載している申請書類を、簡易書留または一般書留郵便により提出してください。

入学者選考方法(募集要項15ページ)

【第1次選考】(筆記試験)

- ◇ プログラム毎に筆記試験を行い、「与えられた課題に対する理解力及び論述能力」を判定し、第1次選考の合格者を決定します。

プログラム名	出題内容	特に持込を許可するもの
生活健康科学プログラム	専門分野・英語	英和辞典のみ持込可(電子辞書は不可)
人間発達科学プログラム	専門分野	
臨床心理学プログラム	専門分野	
社会経営科学プログラム	専門分野・英語	英和辞典のみ持込可(電子辞書は不可)
人文学プログラム	専門分野・英語	英和辞典のみ持込可(電子辞書は不可)
情報学プログラム	専門分野	
自然環境科学プログラム	専門分野	

- ◇ 過去3年分の筆記試験問題を本学ホームページ(<https://www.ouj.ac.jp>)で公開しています。

【第2次選考】(面接試問)

- ◇ 第1次選考の合格者に対して、プログラム毎に、提出された研究計画書、志望理由書等をもとに面接試問を行い、「研究遂行能力や意欲など」を判定します。
- ◇ 最終合格者は、プログラム毎に筆記試験および面接試問の結果に基づき決定します。

出願・入学者選考について⑦

プログラム名	募集人員	昨年度出願者数	昨年度合格者数	昨年度倍率
生活健康科学	90名	90名	40名	2.25倍
人間発達科学	60名	107名	48名	2.23倍
臨床心理学	30名	235名	30名	7.83倍
社会経営科学	100名	78名	35名	2.23倍
人文学	90名	111名	47名	2.36倍
情報学	70名	57名	51名	1.12倍
自然環境科学	60名	48名	38名	1.26倍

「研究計画書」の記入方法について(募集要項26ページ)

研究計画に盛り込んでいただきたい内容について、放送大学ホームページ＞大学院＞研究計画書の作成＞研究計画書の作成 で公開しております。

1. 「研究計画の作成」をクリック



大学院文化科学研究科文化科学専攻

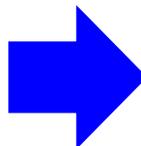
修士課程 | 博士後期課程

7プログラム

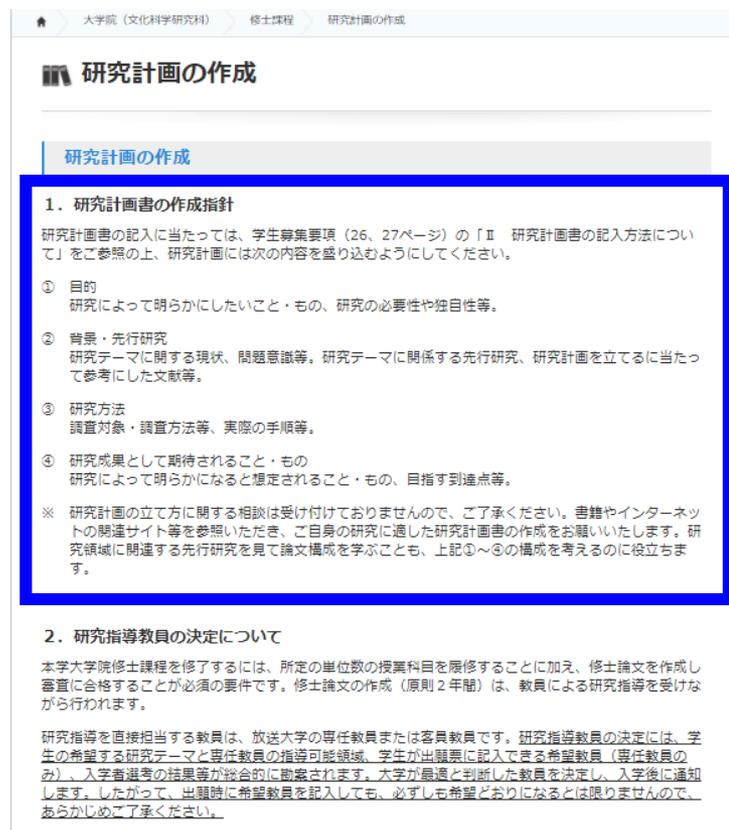
修士全科目生
修士選科生
修士科目生

④ 研究計画の作成

専任教員ごとに、指導方法や入学者へ期待すること等をご覧いただけます。修士全科目生へ出願する方は事前に確認いただき、研究計画を検討する際の参考にしてください。



2. 研究計画の作成指針



大学院 (文化科学研究科) | 修士課程 | 研究計画の作成

研究計画の作成

1. 研究計画書の作成指針

研究計画書の記入に当たっては、学生募集要項(26、27ページ)の「Ⅱ 研究計画書の記入方法について」をご参照の上、研究計画には次の内容を盛り込むようにしてください。

- ① 目的
研究によって明らかにしたいこと・もの、研究の必要性や独自性等。
- ② 背景・先行研究
研究テーマに関する現状、問題意識等。研究テーマに関連する先行研究、研究計画を立てるに当たって参考にした文献等。
- ③ 研究方法
調査対象・調査方法等、実際の手順等。
- ④ 研究成果として期待されること・もの
研究によって明らかになると想定されること・もの、目指す到達点等。

※ 研究計画の立て方に関する相談は受け付けておりませんので、ご了承ください。書籍やインターネットの関連サイト等を参照いただき、ご自身の研究に適した研究計画書の作成をお願いいたします。研究領域に関連する先行研究を見て論文構成を学ぶことも、上記①～④の構成を考えるのに役立ちます。

2. 研究指導教員の決定について

本学大学院修士課程を修了するには、所定の単位数の授業科目を履修することに加え、修士論文を作成し審査に合格することが必須の要件です。修士論文の作成(原則2年制)は、教員による研究指導を受けながら行われます。

研究指導を直接担当する教員は、放送大学の専任教員または客員教員です。研究指導教員の決定には、学生の希望する研究テーマと専任教員の指導可能領域、学生が出願票に記入できる希望教員(専任教員のみ)、入学者選考の結果等が総合的に勘案されます。大学が最優先と判断した教員を決定し、入学後に通知します。したがって、出願時に希望教員を記入しても、必ずしも希望どおりになるとは限りませんので、あらかじめご了承ください。

出願に際しての注意事項(募集要項裏表紙ほか)

- ◇ インターネット出願の場合も、必ず郵送で提出する書類があります。
- ◇ 締切期限は厳守してください。
期限後の消印の出願書類は一切受付できません。
- ◇ 出願書類に不備がある場合は、出願を受理しないことがあります。これまでに在籍した教育機関からの証明書の発行等に時間を要する場合がありますので、十分にご注意ください。
- ◇ 出願書類は、巻末に綴じ込んである所定の出願用封筒に入れ、必ず、簡易書留郵便または一般書留郵便で送付してください。
電話等による出願書類の到着確認は行っておりませんので、日本郵便が行っている「郵便追跡サービス」でご確認ください。

みなさまのご出願を
心よりお待ちしております

放送大学
学務部教務課